

令和4年度第4回南外地域協議会会議録

令和4年11月24日

南外地域協議会

令和4年度第4回南外地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■議事録署名委員の指名	2
■協議	2
① 南外地域「彩色千輪プロジェクト」に関する報告について	2
② 令和5年度当初予算（彩色千輪プロジェクト及び地域枠予算）に関する説明について	6
③第6期地域協議会委員選任に関する方針について	9
④その他	20
■閉会	21
■署名	21

令和4年度 第4回南外地域協議会 会議録

■日 時：令和4年11月24日（木） 18時00分

■会 場：南外コミュニティセンター

■出席委員： 8名

伊 藤 直 人、 風 口 宏 子、 木 村 ふみ子、 今 野 徹
佐 々 木 久、 佐 藤 喜八郎、 相 馬 静 華、 高 橋 恵 子

■欠席委員： 8名

伊 藤 君 夫、 伊 藤 成 幸、 伊 藤 伝 悦、 伊 藤 まゆみ
佐 藤 正 行、 佐 藤 和 香、 高 見 正 志、 八 嶋 康 晴

■出席職員： 6名

○南外支所職員

久米 啓之（支所長）	佐々木 満智子（市民サービス課長）
佐藤 マキ（公民館長）	佐藤 和好（農林建設課長）
木村 慎吾（地域活性化推進室主幹）	佐々木 心都（地域活性化推進室主事）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - ① 南外地域「彩色千輪プロジェクト」に関する報告について
 - ② 令和5年度当初予算（彩色千輪プロジェクト及び地域枠予算）に関する説明について
 - ③ 第6期地域協議会委員選任に関する方針について
 - ④ その他
- 4 閉会
- 5 署名

(18時00分 開会)

○木村地域活性化推進室主幹（以下「地域活性化推進室主幹」と表記）

皆様、本日はお忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。ただいまから令和4年度第4回南外地域協議会を開会いたします。協議会開催にあたりまして、伊藤会長からご挨拶を頂戴いたします。

○伊藤直人会長（以下「会長」と表記）

どうも皆様、お晩でございます。秋も大分進んできて、寒い日が続くようになりましてけれども、急な温度変化などに気を付けていただけたら良いと思います。なんとか今年も無事乗り切りたいなと思っております。今日は少ない案件であります、皆さんの忌憚のない意見を頂戴できればと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○地域活性化推進室主幹

それでは議事に入らせていただきます。ここからは着座させていただきます。本日の出席委員数は現時点で7名です。予定では9名となっております。現時点では委員の過半数に達していませんけれども、今日は参加された委員の皆さんに資料の説明を中心にして会議はこのまま進めていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

本日の議題はその他を除きまして、3件です。また、会議録作成のため録音させていただくことをあらかじめお断り申し上げます。なお、ご発言の際は挙手の上、会長の指名を受けてからお願いいたします。

それでは、議事の進行は伊藤会長にお願いいたします。

○会長

それでは協議会を始めさせていただきます。議題に入る前に本日の議事録署名委員を指名します。佐々木久委員と相馬静華委員にお願いいたします。

それでは議事を進めてまいります。本日の協議案件①の南外地域「彩色千輪プロジェクト」に関する報告について、事務局より説明をお願いいたします。

○地域活性化推進室主幹

1. 南外中学校「地域とつながる！」プロジェクトについて

①. 南外中学校「小さな拠点」活性化会議

南外中学校2年生12人がグループ拠点3施設の利活用プランをつくり、公开发表を行う「地域活性化プラン発表会」を南外中学校で実施した。9月30日には、地域協議会委員や学校評議員等、市役所関係者を前に発表したほか、10月8日には新型コロナウイルス流行後、初めて一般開放で開催された南外中学校学校祭のステージプログラムのひとつとして、保護者や地域住民等の前でも発表を行った。

この事業を通じて地元中学生から提案された拠点3施設の利活用策は、このたび作成した「南外地域『彩色千輪プロジェクト』事業計画」に盛り込まれている。

②. 「もっと売り込め！なんがいブランドスイーツ」

拠点施設のひとつである「南外さいかい市」で製造販売しているお菓子の普及・定着に地元中学生から一役買ってもらうことで、「南外さいかい市」の活動を地域住民に広く知ってもらうとともに、サポーターを掘り起こそうと実施した事業である。

「南外さいかい市」のお菓子詰め合わせ商品のパッケージを南外中学校の1年生にデザインしてもらい、その商品の販売を10月23日に開催した「なんがい地域祭」会場で実施した。準備した商品約60個は、販売開始から1時間足らずで完売した。今回作成したパッケージデザインは1月上旬頃から南外さいかい市店舗に掲示する予定である。

○久米支所長（以下「支所長」と表記）

2. 「彩色千輪プロジェクト」にかかる市長協議について

南外地域の「彩色千輪プロジェクト」にかかる市長協議が10月24日に行われ、地域協議会委員の皆さんを始めとする幅広い年齢層の地域住民の皆さんの意見やアイデアを基に作成した「南外地域『彩色千輪プロジェクト』事業計画」の内容を老松市長と佐藤・今野両副市長に説明し、それに関する意見交換を行った。老松市長からは次のような意見があった。

- 地域住民や中学生などの若い世代からも意見をいただいてまとめたプロジェクトなので尊重したいと思う。
- ソフト事業が多いが大丈夫だろうか。関係団体と一緒に盛り上げていかないといけない。
- （彩色千輪プロジェクト事業は）若い人に地元に残ってもらいたいということが底流にある。3つの施設の利用促進はもちろんだけれども、それを活用していろいろなことをやるということがベースになると思う。

彩色千輪プロジェクトの事業実施にかかる経費は、令和5年度当初予算として予算要求をしており、今後は予算査定を経て配当される予算に合わせて事業内容を調整の上、事業を実施していくこととなる。今後の動向は、次回以降の地域協議会で逐次報告する。

○会長

ただいま説明をいただきましたけれども、1と2ありますがまず1の南外中学校「地域とつながる！」プロジェクトについて皆さんのご意見、ご質問等伺いたいと思っておりますがありませんでしょうか。挙手の上、ご発言をお願いします。

この発表等には協議会の委員の皆様の中で参加して下さった方もいらっしゃると思いますので、中学生の皆さんも発表のしがいがあったかと思っております。何か感想等ありませんで

しょうか。

【意見・質問等なし】

無いようですので、それでは2の「彩色千輪プロジェクト」にかかる市長協議についての支所長さんの説明につきまして、何か委員の皆様ご意見、ご質問等ありませんでしょうか。

ソフト事業が多いようだけれども大丈夫かという話もある様でしたけれども、どういった内容でしたか。

○支所長

ソフト事業が多いようだけれども大丈夫かということに関しては、コロナ前に実施していた食のイベントをあまり無理せずにもう一度やりたいということをお伝えしました。コロナ前に新そばを振るまったりしてかなりお客さんもきてくれたようでしたので、そのようなイベントを実施していきたいという回答をしました。

○会長

分かりました。佐藤委員どうぞ。

○佐藤喜八郎委員

この会合に直接関係するのかどうか分かりませんが、前にアンケートを出されたかと思いますが、その結果によって忠告が変わったという項目がありましたら教えてください。

○地域活性化推進室主幹

先程支所長からもお話があった通り、今年は2つの種類のアンケートを実施しております。1つは拠点3施設の利用者アンケート、もう1つはこども園・小学校・中学校のお子さんの保護者の方を対象にした子育て世代アンケートです。そのアンケートの中で出てきたもので彩色千輪プロジェクトの中で実施するものは具体的にはないというわけではないですが、お手元の資料のA3カラーの計画書をご覧ください。後で説明する予定でしたが右半分が来年度に実施する予定の取り組みの内容になっています。例えば自立してコンパクトな南外のソフト事業の中の拠点3施設の合同事業の実施ということに関しては、アンケートの中で出てきた意見を汲んで、項目化したものです。現時点で具体的に何をやるかについては、土台として考えるのは、コロナ前に実施しました南外うまいもん市という3つの施設を会場にしたイベントがありましたので、そういったものをイメージしながら、イベントの企画に取り組んでいきたいと考えています。

この他の行事に関しても、地域協議会の委員の皆さんがミライワークショップの中で出されたアイデアと似たようなアイデアがアンケートの中でも出てきましたので、それを汲

んだような内容をやっていきたいと思っています。

○会長

他にありませんか。

市長と懇談した後で意見交換した際に、ふるさと館の増改築やリフォームなどをしなくてもいいのかということをして市長がおっしゃられたということは、非常に力強いお話だなと思って聞いておりました。ふるさと館は地域創生1億円の時にできたかと思います。かなりの年数が経っており、やはり今の時代にあった建物ではない気もするので、市長さんがそう言ってくださるのであれば、支所としても検討していただけたらと思いますけれども、皆さんどうですかね。

佐々木委員どうぞ。

○佐々木久委員

ふるさと館を建てた時のことですが、私も何回か屋根の修繕をさせていただきました。風呂場と大広間の屋根ですが、かなり錆びていて水が漏れてきてもおかしくない状態です。せっかく市長さんがそのような意見を出してくれるのであれば、大至急予算を取ってもらって屋根の改修をしたら良いのではないかと思います。

○会長

ありがとうございました。必然的に手のかかる時期になってきているようであります。

○支所長

ふるさと館について市長さんが大分気にしてくれているようでありますが、今回の施設利用者の方々のアンケートの中ではエレベーターを付けてほしいという意見やバリアフリー的なことについての使い勝手に関する意見はあまりありませんでした。ですが、やはり外観は屋根が錆びたりしており、そちらに関しては来年度の予算として要求しており、入ってすぐの屋根も大分傷んでいますので、そちらは予算が付けば良いと思っています。また、施設利用者の方々からは駐車場の区画線が分かりづらいとの意見もいただいております。身障者の車いすのマークも消えており、そちらの方も予算要求しておりますので、来てくれる利用者が使いやすいような、そこまで予算はかけられないかもしれませんが、そのような感じで予算要求しておりますので、ご理解いただければと思います。

○会長

ありがとうございます。他にご意見、ご質問ありませんでしょうか。

○佐藤喜八郎委員

4、5日前にふるさと館に泊まりましたが、やはり入り口から玄関までかなりくたびれてきていますし、内装もあちこち剥げてきています。そうするとまた魅力が落ちると思い

ます。それからもう一つ、夕食ですが1500円から2000円に値上がりしています。朝食が1000円でどちらもご馳走になりましたが、できれば南外村のご馳走を出せるようなコックさんがいれば良いと思いました。もう一つだけ、サウナが1人しか入れないということで、出来ればプラスして設備を整えてもらいたいと思います。そして、さいかい市のお店も見ましたが、ちゃんとした建物だとは思いますが、駐車場の横に色々な物を置かれているようでした。少し景観上良くないので、そういうものを収納したりまとめた設備を作れば見栄えが良くなるのではないかとそんな気がいたしました。すみません。たくさん話してしまいましたがよろしくお願ひします。

○会長

ありがとうございました。他にありませんでしょうか。

○支所長

ただいまのふるさと館の料理の件に関しては、指定管理者へそのような意見がありましたということをお伝えしたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。今回の中学生の意見でも、特色ある料理についての意見もあったかと思ひます。今回はWi-Fi環境を整備する意見もあり、そちらはふるさと館の方でエリアは狭いですが、整備できるように進めておりますし、それを増強する形で市でも来年度の予算要求をしておりますので、その旨指定管理者の方が頑張っておりますので、ご理解いただければと思ひます。さいかい市に関して、設備は市で整備したもので、市長も整備したところに何か過不足がないかということをお気にされておりました。その辺りをさいかい市に聞いて何か不足なものがないか確認したいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

○会長

はい。ありがとうございます。他にありませんか。

【意見・質問なし】

無いようですので、続きまして協議案件②の令和5年度当初予算（彩色千輪プロジェクト及び地域枠予算）に関する説明について事務局の説明をお願ひいたします。

○地域活性化推進室主幹

- 令和5年度彩色千輪プロジェクト当初予算について
 - 具体的な取り組みについて
南外支所地域活性化推進室が中心となって、「**地域活性化の方向性**」に沿った拠点施設活用の取り組みを進めていく。

自立してコンパクトな 南外

	事業名	内容	概算予算(千円)	財源
④	施設案内看板のリニューアル	拠点3施設の一体性を表現・PR [既存看板の貼り替え2カ所・新設1カ所]	1321	一般
⑤	拠点3施設合同事業の実施	各施設の特徴を生かした催事等の企画・実施 [既存事業の拡充]	185 [報償費・消耗品代等]	一般 [地域枠]

子どもからお年寄りまで元気で安心な 南外

	事業名	内容	概算予算(千円)	財源
④	Wi-Fi環境の整備	施設利用者等が現地で情報を受送信できる環境を整備	748	一般
⑤	SNSの利活用	地域アカウントの取得・運用で地域内外にローカル情報を発信	—	—
⑤	管内保育・教育機関との連携強化	地元小・中学生が企画・考案した事業の実施 [既存事業の拡充]	194 [報償費・消耗品代等]	一般 [地域枠]
⑤	「ミライワークショップ」×「拠点3施設」事業の実施	世代間交流を目的としたサロン事業の実施 [既存事業の拡充]	50 [消耗品代等]	一般 [地域枠]

自然豊かで人が集まる 南外

	事業名	内容	概算予算(千円)	財源
④	拠点3施設共有駐車場の改善	施設利用者等の安全な動線確保を目的に駐車場内の区画線を引き直し	190 [修繕料]	一般
⑤	自主上映会運営の支援	民間団体等が企画・実施する拠点施設での上映会イベントの開催を必要機材の貸し出し等で支援	498 [備品購入費等]	一般
⑤	地域枠予算の活用促進による「集いの機会」の拡充	拠点3施設を利活用した市民主導型地域枠予算事業の新規事業の企画・実施を支援 [既存事業の拡充]	300 [補助金]	一般 [地域枠]

㊟	SDGs 実現に向けたひとづくり・まちづくりの推進	持続可能社会の実現をテーマにした催事（フリーマーケットや講習会等）の企画・実施[既存事業の見直し]	106 [報償費等]	一般 [地域枠]
---	---------------------------	---	---------------	-------------

㊟…ハード事業 ㊟…ソフト事業

○佐々木地域活性化推進室主事（以下「地域活性化推進室主事」と表記）

- 令和5年度地域枠予算に関する当初予算について

【継続事業】

- 南外地域桜守り事業…407,000円
- 「なんがい支所だより」増刊号発行事業…147,000円
- 「地域の拠点」PR イベント開催事業…185,000円
- 南外中学校「地域とつながる！」プロジェクト事業…194,000円
- 「地域の拠点」健康サロン開催事業…50,000円
- 「南外おらほの桜まつり」開催事業…208,000円
- 「なんがい青空市」開催事業…106,000円
- 環境整備活動事業…1,111,000円
- 「南外地域運動イベント」（仮称）開催事業…300,000円
- 「なんがい地域祭（おらだの秋フェス2023）」開催事業…586,000円
- 河川支障木伐採事業…350,000円
- 南外地域花いっぱい運動事業…273,000円
- 「南外地域活性化支援協議会」活動補助事業…100,000円
- 「南外小唄まつり」開催事業…240,000円
- 「第5回クリスマスパーティ in 南外」事業…200,000円
- 南外盆踊り開催事業…200,000円
- 「檜岡城を守る会」活動補助事業…150,000円
- 「『ふるさと南外の会』を応援する会」活動補助事業…260,000円
- 「さなぶり酒花火」事業…1,500,000円
- 新規事業枠…156,000円

【新規事業】

- 檜岡城址遊歩道整備事業
事業内容：檜岡城址内の遊歩道上の杉の落葉等を除去するとともに、経年劣化したウッドチップを敷き直しする。
予算額：625,000円（委託料、原材料費）
- 「地域の拠点」利活用新規事業枠
事業内容：彩色千輪プロジェクトの一環として、拠点施設を利用して実施する

任意団体の活動を支援する。

予算額：300,000円（補助金）

【廃止事業】

- 国道105号線コスモス植栽事業
廃止理由：事業規模を縮小し、自己資金等で実施予定のため。
- 「南外小学校創立10周年記念式典」開催事業
廃止理由：令和4年度限りの単年事業のため。

○会長

はい。説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ありましたらご発言願いたいと思いますが何かありますか。

私からなのですが、令和5年度の地域枠予算執行計画の22番、新規事業についてですが、10万円×3団体で30万円とありますが、今ここで説明できる範囲で構いませんので、内容をもう少しだけ教えていただけないでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

はい。こちらは現時点で補助金を交付する団体が特定されているわけではなくて、今後、地域枠予算を活用する団体を増やしていきたいという思いがありまして、そういった時の受け皿ということで予算要求しております。新規事業枠は4万円しか見ていなかったもので、30万円という金額を予算としておきました。

今年は、南外もぐらの会という団体が地域枠予算を活用して、80名程度のお客さんを集めてイベントを開催したという実績があります。そういったイベントを想定して、10万円程度の予算でも十分に集客イベントを開催できるのではないかと思います。3団体でそれぞれ10万円程度の予算を使ってイベントを実施するとなった時に市として支援し、このような流れを促進していきたいという思いから予算要求させていただきました。

○会長

分かりました。ありがとうございます。他にありませんか。

【意見・質問なし】

無いようですので、2の令和5年度当初予算（彩色千輪プロジェクト及び地域枠予算）に関する説明はこれで終わります。

それでは、協議案件③の第6期地域協議会委員選任に関する方針につきまして、事務局の説明をお願いします。

○地域活性化推進室主幹

- 第6期地域協議会委員（令和5～7年度）選任に関する方針《全地域共通》（案）について

現在の第5期地域協議会委員は、令和5年3月31日で任期満了となることから次期委員について、次のとおり選考方針を定める。

【第5期委員】

○ 見直しについて

地域枠予算については、創設から安定した運用がされていることから、審議（事業承認の可否）を廃止し、市から報告された地域枠予算活用事業について評価・検証を行い、必要に応じて助言等を行うこととした。

また、地域課題の解決や協働のまちづくりを実現するための協議等に重点を置き、市民の意見を市政に伝える役割を果たすため、次の活動を行うこととした。

- ① 諮問・答申
- ② 自主審議
- ③ 地域を元気にするための事業提案
- ④ 地域枠予算の評価・検証

○ 委員数について

条例改正は行わず、選考方針で地域ごとの委員数を定めた。

- ・大曲 14人 ・神岡 14人 ・西仙北 17人 ・中仙 15人
 - ・協和 14人 ・南外 16人 ・仙北 14人 ・太田 12人
- （人口比で見ると南外が一番多い）

【第6期委員】

○ 委員の任期について

令和5年4月1日から令和8年3月31日まで

○ 見直しについて

第5期委員選考にあたり役割が見直され、現在、地域課題の解消に向けた協議が行われているほか、各地域で実施する活性化に係る協議が進められていることなどから、見直しは行わない。

○ 委員選考について

次期委員について、各地域が共通認識をもって委員選考を行うことを目的に「第6期地域協議会委員選考に関する方針」を策定する。

【第6期委員選考方針】

○ 委員数

地域ごとの委員数は、地域の活動実態等に合わせ次のとおりとする。

- ・大曲 人 ・神岡 人 ・西仙北 人 ・中仙 人
 - ・協和 人 ・南外 人 ・仙北 人 ・太田 人
- (現在各地域で検討中)

○ 再任の取扱い

① 1期目の委員については、再任可能とする。

- ・個別に意向確認を行い、選任依頼する。

② 2期目の委員については、原則新任者を選任する。

- ・公共的団体選出委員が団体代表者である場合及び地域が特に必要と認める学識経験者の場合は再任可能

○ 女性委員比率

- ・各地域の女性委員比率35%以上を目標とする。

※男女共同参画プラン女性委員登用率目標35%に合わせる。

○ 年齢構成

- ・各地域協議会委員の選任にあたっては、幅広い年齢層からの意見が反映されるようバランスに配慮し、平均年齢50代を目標とする。

○ 委員選考区分及び選考方法

委員は、年代や性別など、次の選考区分中から地域の実情など必要な委員構成（公共的団体及び学識経験者）に考慮した選考を行い市長が委嘱する。

①公共的団体推薦 ※地域協議会委員のメインとして位置づける。

P T A関係者、地区コミュニティ会議・自治会連絡協議会関係、スポーツ関係団体、商工関係団体、農業関係団体、福祉関係団体 など

②学識経験者

防災（自主防災・消防団）、民生委員、商工関係者、農業関係者、福祉関係者、地域づくり活動、ボランティアに関する有識者 など

③公募者の選考

地域ごとに定めた委員数に達しない場合においては、公募による委員選考を行う。選考に当たっては、作文・面接の点数を参考に、地域づくり活動の実績等総合的な判断による。

【委員選考スケジュール】

○地域協議会委員構成等の検討	～12月
○地域協議会への選考方針説明	12月～
○公共的団体及び学識経験者の検討	1月
①1期目委員への意向確認	1月
②公共的団体への推薦依頼及び学識経験者への選任依頼	1月
○公募委員募集	2月
・公募委員選考（面接・決定）	3月
○第1回各地域協議会	
・委嘱状交付	

● 地域協議会委員の定数に関するアンケートについて

【アンケート結果】

回答人数…16人中9人

選択肢

- ・ちょうどいい…4人
- ・多い…3人
- ・少ない…1人
- ・分からない…1人

委員数については「多い」と回答された3人の方はいずれも「12人」が望ましいとし、「少ない」と回答された方は「20人」が望ましいと回答されている。

今回、地域協議会にかかる事務を所管する本庁地域活動応援課からは、選考案と合わせて、「委員数は第5期の委員数を上限に各地域で委員数を設定してほしい」とのお話がありました。なお、こちらの報告期限が11月30日までと大変切迫したスケジュールとなっております。来年4月からの第6期の委員定数に関しましては、第5期の16人を上限に出席委員の皆さんで本日も協議の上、方向付けしていただければと考えております。

参考までに、各地域の状況に関してお話させていただきますと、現時点で定数が決まっているのが、西仙北と中仙です。西仙北に関しては現在17人ですが、15人に下げようです。中仙に関しては現状維持で15人のままということでした。このような状況を踏まえ意見交換をしていただきまして、本日も委員定数について方向付けできればと思うのでご協議についてよろしくお願いいたします。

○会長

ただいま事務局から、第6期の地域協議会委員の選任に関する方針について様々説明いただきました。定数につきまして5期の定数を基準にして、それに対して同じで良いか、減らした方が良いかということのようでした。委員の皆さんのご意見を伺いたいと思います。よろしくお願い致します。全員から聞かせていただければと思います。では風口委員、

でしょうか。

○風口宏子委員

南外に来て7年目ですけれども、この委員のお話をいただいた時にどういうことかというのを良く把握しないまま、ここに来させていただきました。一回一回が勉強の場なのですが、委員の数などについては申し訳ないのですが、ちょっと分からない状態です。申し訳ありません。

○会長

分かりました。いきなり指名してすみません。次、木村委員でしょうか。定数につきましてご意見ありましたら、お願いします。

○木村ふみ子委員

私は、このアンケート提出しましたけれども、16人から12人が良いのではないかと思います。

○会長

はい。ありがとうございます。

○今野徹委員

人数でいくと現在16人で、私的には2人減らして14人が一番コンパクトにまとまると思っていました。

○佐々木久委員

自分は12人が良いのではないかと思います。この会議に確実に参加できる人を選んでいただきたいと思います。その個人によっては事情で来られないという時もあると思いますが、12人の中で2人来られなければ10人でいつもの会議は最低12人以上ということで、16人来なければ、致し方ないとは思いますが。それで私は12人が適当ではないかと思います。

○佐藤喜八郎委員

私もアンケートを書きました。定数は20人と書きました。必要な団体の必要な方から意見を聞くということで、数えましたら20人になりました。数で決めるというのは、私は少し疑問です。必要な方から必要な意見を諮問したい、それが姿ではないかなという気がします。ですので、支所当局の方で、どういう団体からどういう意見を聞きたいのかということをつかりやすく説明していただければ考え方の一つの資料になるのではないかと思います。

それから、学識経験者と公的団体という表現しかないのですが、もっと具体的にどうい

う立場の団体なのかあるいは学識なのか、この辺りを我々委員の中だけでも共通認識があればいいのかなとそういう気がいたしました。

○相馬静華委員

私はアンケートの中で分からないと回答しましたが、皆さんの意見を聞いて思ったのですが、佐藤委員が言っていることも分からないでもないですが、16人以下でも問題ないのかなと思ったところです。

○高橋恵子委員

私は、アンケートに12人が良いのではないかと書きました。コンパクトにしても良いのではないかと思いました。出席率がその方が上がるのではないかと思いました。

○会長

はい。ありがとうございます。おおむね現在の16人は多くて、14人あるいは12人にしたほうが良いのではというお考えかと思いました。ただ、20人にしたほうが良いという意見の方もいらっしゃるって、広い地域、広い分野の意見を集めることも大事だという考えもあるかと思えます。そうでないと偏った考え方や進め方になってしまう危険性も孕んでしまいますので、やはり定数につきましては慎重に考える必要があるのではないかと思います。

どうしましょう。このままでいきますと12人、14人になりそうです。16人のままで良いという方もアンケートの中ではいらっしゃいましたが、今日の会議の中では16人が良いという方はいなかったような感じがします。もう一度踏み込んで、今皆さんの意見を聞いた上で、さらにどういった考えを持たれたかお話を聞かせていただければありがたいです。どうでしょうか。佐藤委員どうぞ。

○佐藤喜八郎委員

先程質問した内容につきまして、支所当局から説明をいただければと思います。

○会長

資料の裏ページに、各分野の主だった団体や想定している団体がついているかと思えますがこれをもっと具体的に絞ってということですね。

○佐藤喜八郎委員

区分としては2つしかないなので、乱暴な言い方をすると2人いれば良いのではないかという話になってしまいます。そうではなくて、学識経験者の中のこういう立場の人、あるいは公的団体のこういう立場の人、こういうことをやっている人というようなちょっと具体的なそういうものがあれば話し合いの材料になるのではないかなと思いました。

○支所長

回答になっていないかもしれませんが、委員の皆さんの選定基準で、まず公共団体の推薦、学識経験者の方となっております。どのような方が委員になってほしいかという市の事務局サイドの手引きというものがありまして、そちらには委員の方々の資質といたしましては、自分の利益ではなく地域の利益を考えてくださる方、地域のために頑張っていただけの方、建設的な物の考え方ができる方、住民目線でものを考えることができる方ということで、自分の私利私欲を追求するのではなく、また自分の意見にこだわることなく、専門的な意見もあるかとは思いますが、その地域に住む住民の目線でものを考えている方を選んでいきたいと思っております。そして、それに当てはまるのが公共団体からの推薦、学識経験者ということで区分させていただいております。

○会長

そういうことでよろしいでしょうか。

○佐藤喜八郎委員

はい。

○会長

ありがとうございます。それでは、とりあえず今日の会としましては人数をどのくらいにしたら良いかをまとめたいと思いますが、まとめる方法をどのようにしたらよろしいでしょうかね。

少し決めにくいと思いますが、最後何か追加で意見等はありませんか。

○佐藤喜八郎委員

彩色千輪プロジェクトの市の責任者の策定は、若い人が残れる地域ということが思案されてきたところです。従いまして、将来を担う高校生、企業団体の代表などそういうところも入れていただければと思っております。

○会長

選考する際の判定基準の参考にさせていただきたいということのようではありますが、支所長さんよろしいですか。

○支所長

佐藤委員のただいまの提案について、こちら事務局でも委員の皆様の選定についてそれも加味して進めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○会長

はい。それでは意見も大体出尽くしたところかと思っておりますので、少し乱暴ですけれども、

挙手で意見聴取したいと思いますがよろしいでしょうか。

それでは現状のままで良いという方は挙手をお願いいたします。

【2人挙手】

14人で良いという方は挙手をお願いいたします。

【2人挙手】

12人で良いという方は挙手をお願いいたします。

【3人挙手】

それでは、少ないと思われた方も中にはいらっしゃったかとは思いますが、例えば20人にしたほうが良いという考えの方はいらっしゃいますか。

【挙手なし】

全員手は上げましたね。そうすれば、まとめたいと思います。現在のまま16人で良いという人が2人、14人の人が2人、12人の人が3人でした。ということで今日のまとめの案として3人とすることによろしいでしょうか。12人に挙手された方が3人いらっしゃって、一番挙手が多いのが12人でしたので、12人と決めたいと思いますがよろしいでしょうか。

○佐藤喜八郎委員

12人でもよろしいですが14、16人が合計で4人いらっしゃるので、その辺りのバランスを考えたほうがいいのではないかと思います。

○高橋恵子委員

会長さんはどうですか。

○会長

私は前のアンケートの時点では、今のままで良いという回答をしてしまいました。その理由はやはり今出席率が悪いものですから、人数を絞って5、6人の会議で全体的な意見を拾うと言えるのかなということを感じたからです。今のままで良いという回答をしましたが、これから人選を見直して出席率の良い方を狙っていただければ、12人にしても常時8人ほどの出席、あるいは7人くらいの出席であれば、何とか広い意見の集約もできると思いましたので、私は今の時点では12人で良いのではないかと考えております。

それでよろしいでしょうか。

○支所長

今日出席されている委員の皆さんの数が会長さんも含めて8人で、委員全体の半数です。今日出席されていない委員の方の意見は分かりませんが、幅広い団体の方々から意見を頂戴したいという意見の方もおられますし、12人で少数精鋭でという方もおられますが、急に16人から12人するのはなかなか難しいと感じました。難しいというのは、色々な幅広い分野の方々の意見を、市役所として聞けないのではないかという懸念があるからです。最終的な目標で12人というのは良いかもしれませんが、16人から徐々に15、14、13と減らすような感じでも良いのではと思います。事務局的にはあまり急に減らすよりは14、15人あたりがちょうどいいのかなと思います。そこは委員の皆さんと会長さんの意見もありますし、16人でも私たちは結構ですが、急激に減ってしまうと地域の意見が聞けなくなってしまうのが少し寂しいかなと懸念されるところです。よろしくお願いいたします。

○会長

大変申し訳ありませんでした。現在のまま16人で良いという人が2人、14人の人が2人、12人の人が3人ということで、3人の方に目がいってしましまして、3人でどうでしょうかと決を採ろうとしましたけれども、佐藤委員さんからのご指摘もありまして、中間は14人という風に考えられますので、もう一度決を採りたいと思います。最初に言った12人ということで良いか、中間の14人ということが良いか、その2点で決を採りたいと思いますがよろしいでしょうか。

○木村ふみ子委員

昨年はすごく出席率が良かったです。今回に関してはものすごい人数が減ってしまって、参加率が少なくて、何か原因があるのでしょうか。前は出席率が高くて、でも急激にこのように半分ぐらいに減ってしまっているの、来られない事情があるのかもしれませんが、やはり来るたびに人数がこのような状況になっているので、そこについて少し考える余地があるのではと思います。やはりこれから新しく選ぶにしても参加できる人、できない人がいると思うので、その辺りを吟味して検討してみたほうが良いと思います。人数ばかり16人にしても参加率が8人で半分でしょう。そうすれば意味がないでしょう。やはり中身も濃いものにしていかないと、人数ばかり増やしてもしょうがないのではないのかなと私は思います。絶対何か原因があると思います。私は今までずっとやってきましたが、こんなに減ることは無かったです。

○佐藤喜八郎委員

私は、葬式の時だったかどうしてもやむを得ず行けなくて、一回だけ出席しなかったことがありました。行けないため、その時は前もって資料をもらっていたので文書は出しま

した。今欠席されている方はそういうことはされていらっしゃるでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

書面でこちらから意見を求める機会がこの1、2年であったかと思いますが、欠席された方で意見も出されなかったという方はいらっしゃいます。参加もしていないし、意見も出していないという方が当然いますけれども、意見に関してはどこまでも出してくださいと、深追いしなかったというのが1つあるかもしれません。いずれもそのような方がいらっしゃるのが現状です。

出席者の状況について先程お話があったので簡単に説明させていただきますと、前回の平成29年度から令和元年度の第4期と、令和2年度以降の現在の第5期と比較した場合の平均の出席率というのはそこまで変わってなくて、どちらも1年目は平均で12人ほど出席されています。2、3年目になると少し出席率が下がってきて、10人程度になっていました。ただ、令和4年度の今年に関しては、特別に出席率が低くて、現時点において2桁、10人揃ったことがないという状況です。これに関してはどういったことが想定されるかということについては何とも言えない部分ではあります。農業関係者で、こちらから委員をお願いした人に関しては、農繁期と重なるとどうしても参加できなくなるのではないかと思います。令和3、4年度に関しては、会議の開催日を奇数月の最終木曜日に毎回固定していて、出来る限り委員の皆さんのスケジュールを組み立てやすいように配慮はしていたつもりではあります。先程もお話した通り、農業関係者の人に関しては農繁期と重なって出席できない方もいます。それ以外の方で理由は少し分かりませんが、出席されていない方もいます。そのような人たちに関しては、出席があまりできないという事情を踏まえた上でこちらからお願いしている方もいらっしゃるかと思います。現状については以上です。

○会長

木村さんよろしいでしょうか。

○木村ふみ子委員

はい。

○高橋恵子委員

事務局で人員を16人に達するために無理をしていませんか。その人数にしようにもなかなか引受人がいなくて、だから16人というのはなかなか集めるのが大変な人数なのではないかと前から思っていました。

○佐藤喜八郎委員

私は最初は、その他で申し込みましてレポートを書いてこの委員になったという経緯があります。たまたま私は団体に入っていて、その役割も担って、それでまずいいかという

ことでやっていますが、その団体をお願いする場合に条件を付けて、代表取締役でない方が良いと思うので、必ず来れる人に頼んでもらえれば、結構若い人でもそれなりに考えている人もいるのではないかなとそういう気がいたします。さっき言ったようにチェックしたコメントを書いてもらうとかそのような工夫も必要かと思えます。前回の会議でも言いましたが、小分けにしてワークショップ風にして開催すれば、良い意見もたくさん出てくると思えます。そういう会議の工夫も必要ではないかと思えます。

○会長

ありがとうございます。ただいままでの意見でまたさらに何かありますか。今までの意見を伺いますと、委員の皆様、支所当局からのご助言等を踏まえすと14人がベターではないかと思えますが皆さんどうでしょうか。額は無いようですけども、それでは保留としますか。

これが最終意見ではないですよ。

○地域活性化推進室主幹

参考意見でも大丈夫かと思えます。今仮に14人、16人という定数を決めたとして、この後選考に入って公的団体の人たちにお声がけさせていただいた時に、なかなかご承諾をいただけなくて、当初こちらで考えていた定数が埋まらないという場合は、やはりその定数の見直しを現状に合わせて検討していく必要があるかと思えます。まず一旦この場では14人ということで決めさせてもらって、本庁へはそのように報告しますが、その後の調整も可能かと思えます。お金の話になりますが、地域協議会の皆さんにお支払いしている費用弁償に関しては、16人で予算を見ているので、その範囲であれば定数の調整は可能かと思えます。

○会長

ということでありますので、後日の調整は可能ということでした。今日の話合いの内容からいきますと、あまり急激に12人まで落とすのもどうかという意見もあって、中間が14人ですので14人ということによろしいでしょうか。

【賛成の声】

では14人ということで決めさせていただきたいと思えます。ありがとうございました。

○地域活性化推進室主幹

それではご協議いただいた内容について、まず一旦地域活動応援課へは第6期の委員定数は14人ということで報告させていただきたいと思えます。委員の選考につきましては、先程の説明資料にありました方針案2ページ目の「4 委員選考のスケジュール」に則って、今後は事務を進めていきたいと考えております。委員の皆様には次回協議会までの期

間に意向確認等でご相談をさせていただくことになるかと思いますので、その際にご協力
よろしくをお願いします。

○会長

ありがとうございます。それでは協議案件3の第6期地域協議会委員の選任に関する方
針につきましては以上とさせていただきたいと思います。

それでは最後、その他に入らせていただきたいと思います。

○佐藤喜八郎委員

地域協議会委員の今のメンバーでの会議は今日で終わりですか。

○地域活性化推進室主幹

会期は令和5年3月31日までです。今年度の会議は、奇数月の最終木曜日に実施して
いますので、次回は1月の最終週の木曜日を予定しています。

○佐藤喜八郎委員

もう2回やるのですか。

○地域活性化推進室主幹

はい。2回予定しています。後期の地域枠予算の報告ですとか、彩色千輪プロジェクト
に関しても前倒ししてできるものは実施していきたいと思います。盛りだくさんで進めて
いきたいと思いますのでよろしくお願いします。

○佐藤喜八郎委員

皆さんの顔をもう拝見できないかなと思っておりました。大変失礼しました。

○会長

せっかくの機会でありますので、その他のところで忌憚のない意見を出していただけれ
ばと思いますが、何かありませんでしょうか。

【意見・質問なし】

特に無いようですが、事務局で何かありますか。

○地域活性化推進室主幹

今回は特にありません。

○会長

無いようですので、以上を持ちまして本日の協議は全て終了させていただきたいと思
います。これを持ちまして令和4年度第4回南外地域協議会を閉会いたします。どうもお疲
れ様でした。

(19時40分 閉会)

南外地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

佐々木 久

相馬 静華
